2025 年 8月 吉日

2025白浜ECO-CAR チャレンジ開催概要企画書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申 し上げます。

昨年と同様に旧白浜空港滑走路を利用したエコカー・イベントを開催します。エネルギー事情、原発問題、温暖化ガス、などを抱えた日本で普及が重要視され代替エネルギー、クリーンエネルギーの可能性、を世間にアピールし、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の可能性を世間にアピールするイベントとなります。イベントの目玉は完全Co2フリーのソーラーカーでの走行イベントです。

例年、日本国内では鈴鹿サーキットや秋田県大潟村でエコカー大会が開催されており、数多くの学生チームや一般チームが参加しています。ソーラーカー、エコノムーブは市販車ではないためオリジナル設計で手作り車両を仕上げていきます。自作が出来ない部品は加工依頼先、サポート、スポンサード企業等の打ち合わせなどで学生にとっては総合的な社会経験が出来る場にもなっています。また今回のイベントでは大会技術員が行う車検にて学生チームへは各部の確認以外に設計や改良についてのアドバイスを行い、勝ち負け、走る性能だけでなく、考え方や作り方に至るまでエンジニアの育成にも配慮した大会となります。

開催場所の旧白浜空港滑走路は以前より関西圏の多くの学生エコカーチーム(ソーラーカー、小型バッテリーカー・エコノムーブ)が試走に使用しており今回のイベントに最適です。またイベントを通して白浜町の魅力を配信し地域に人を誘致し、地域活性化に貢献します。1回のスポット的なイベントではなく継続可能なイベント事業を目標とし、更には年間で数回の開催を目標とします。また、イベントが2日間で開催されることもあり、イベント期間中の宿泊はもちろん、昼食の仕出し弁当、更には大会前後の宿泊、食事、観光といった開催地域への経済効果が見込めます。

つきましては、「2025白浜ECO-CARチャレンジ」のイベント趣旨をご理解いただき是非ともご参加、ご協賛、ご後援にご協力を頂きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

お忙しい中、大変恐縮ではございますが何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具





大会事務局: 白浜ECO-CARチャレンジ大会事務局

〒599-8237大阪府堺市中区深井水池町3229-7

主催: 白浜 ECO-CAR チャレンジ 大会実行委員会

会場: 旧白浜空港特設コース (1周 約2400m)

会場住所: **〒**649-2211和歌山県西牟婁郡白浜町2926-23

協賛: 現在交渉中・ 下記は 2024 の実績。(順不同) (その他も含め、現在・交渉中)

西尾レントオール株式会社、三段壁洞窟、株式会社ミツバ、野村商会、 有限会社土井ファーム、東レ・カーボンマジック株式会社、株式会社磯路金属、

株式会社繁原製作所、アキレス株式会社

後援: 現在交渉中・ 下記は2024の実績。(順不同)(その他も含め、現在・交渉中)

白浜町、和歌山県、白浜町商工会、一般社団法人 南紀白浜観光協会、

一般社団法人 日本機械学会 関西支部、公益社団法人 日本材料学会 関西支部、 公益社団法人 日本設計工学会 関西支部、一般団法人 日本太陽エネルギー学会、

NPO 法人 クリーン・エナジー・アライアンス、一般社団法人マグネシウム循環社会推進協議会

協力: 現在交渉中・ 下記は 2024 の実績。(順不同) (その他も含め、現在・交渉中)

有限会社トータルホケンいでは 有限会社ダッシュ

ファクトリージアス合同会社

開催日程:

11月1日 (土) 【ソーラーカー】 車検、走行 + 充電

11月2日(日) 【ソーラーカー】 充電 + 走行+ 表彰式

【WEM・EVエコラン】 車検、フリー走行兼予選 + 走行 + 表彰式





開催部門と走行内容:

ソーラーカー部門:

ソーラーパネルを搭載した車両による競技で規定時間内に走る距離を競う省エネ走行する。

WFM部門:

World Econo Move ルールに準ずる車両。通称WEM、小型バイクのバッテリーを用いて規定時間の1時間内に走る距離を競う省エネ走行する。

白浜EVエコラン部門:

WEM、KV4O、エコデン、等に準じた車両。乾電池4O本、小型バイクのバッテリーを用いて 規定時間の1時間内に走る距離を競う省エネ走行する。

その他の車両:

主催者が認める、その他のEV車両等

参加定員:

ソーラーカー部門20 台に達し次第受付終了(予備枠10台)WEM部門:20 台に達し次第受付終了(予備枠10台)白浜EVエコラン部門:20 台に達し次第受付終了(予備枠10台)

ソーラーカー参加車両と各クラス:

FIA ルール(鈴鹿)、に準ずる車両。又は WSC2017、19、及び 21 に規定される車両、等。

レジェンド・クラス: 2021・IB FIA Olympia

2021 • IB FIA Alternative Cup Category1

2023 · IH WSC 規格車両

アドバンス・クラス: 白浜 WSC 特別クラス(現・旧 WSC 規格車両)

白浜 FIA Olympia 特別クラス

白浜 FIA 現・IBAlternative Cup Category1 特別クラス

ビギナー・クラス: 鈴鹿 Enioy I (一般・大学生)、鈴鹿 Enioy I (中・高校生)

※参加チーム数が4チームに以下の場合は大会実行委員会の判断で他クラスに編入する事がある。

※参加クラス、レギュレーション等の詳細については 7 月下旬発表をご参照ください。

World Econo Move 部門:

World Econo Move車両に準ずる車両で下記の2クラスに編成する。

オープンクラス: 大会当日満19歳以上のドライバーのクラス。

ジュニアクラス: 大会当日満16歳以下満18歳以下のドライバー及びメンバーを主体のクラス。







白浜EVエコラン:

WEM、KV40、エコデン、等に準じた車両で鉛バッテリー3Ahを2個、又は乾電池40本 (Panasonic社製 eneloop ニッケル水素電池 単3形 BK-3MCC) を使用する。 下記の2クラスに編成する。

オープンクラス: 大会当日満19歳以上のドライバーのクラス。

ジュニアクラス: 大会当日満16歳以下満18歳以下のドライバー及びメンバーを主体のクラス。

参加料金:

ソーラーカーレース (一般チーム)50,000円/ チームソーラーカーレース (中・高校生チーム)40,000円/ チーム

World Econo Moveレース(一般チーム) 35,000円/ チーム World Econo Moveレース(中・高校生チーム) 25,000円/ チーム

注意:WEMは決勝用バッテリー代を含む。

白浜EVエコラン(一般チーム)25,000円/チーム白浜EVエコラン(中・高校生チーム)15,000円/チーム

注意:バッテリーは参加者が準備し持ち込み。

別途チームメンバー登録費:

チーム構成人数に応じて入用。(昼食弁当・メンバー登録代)

一般チーム: ソーラー: 3,000 円/人・WEM と白浜 EV エコラン: 1,500 円/人中・高校学生チーム: ソーラー: 2,500 円/人・WEM と白浜 EV エコラン: 1,250 円/人

備考:

上記以外に参加車両に対して約1,000~2,000円/人の保険料が入用です。 (現在、調整中)

スケジュール(予定) :

エントリー 8月頃

試走・走行会 2025は予定なし

2025白浜ECO-CARチャレンジ 11月1日~2日 (10月31日は搬入・準備等)

オフィシャル・サイト:

www.facebook.com/Shirahama.Eco.Car.Challenge/https://shirahamaecocar.wixsite.com/--ecocar





白浜 ECO-CAR チャレンジ 主催者、役員、組織のご紹介



主催者:

野村圭佑 ソーゴインテック(株) 代表取締役、野村商会代表、TEAM-REDZONE 代表、芦屋大学出身。モータースポーツ経験者だったことで大学在学中に学内のソーラーカーチームからスカウトを受けチームに参加しチームを初の表彰台に導く。卒業後も OB メンバーとして芦屋大学チームを支えチームを国内外イベントで常に上位に導く。また同時に他チームの技術指導、運転技術指導等を行う。 2015 年にエコカー、EV カーの OB の憩いの場所として新チームTEAM-REDZONE を立上げ、2016 年からチームを 4 年連続で国内イベントで総合優勝に導く生粋のソーラーカー、EV エコカー好き。

大会組織・役員

事務局長:

野村 圭佑 ソーゴインテック㈱ 代表取締役、野村商会代表、TEAM-REDZONE 代表

競技長:

筒井 貴広 Economove 関西大会事務長、南海電気鉄道㈱ 所属

車検長:

池上 敦也 ヤマハ発動機㈱所属、東海大学ソーラーカーチーム・テクニカルディレクター

計時長:

田代 瑛 ㈱日立ビルシステム 所属

技術顧問:

福井 智史 神戸市立工業高等専門学校 所属

会場管理長:

小佐田 真克 自主創造科学工房 Cabreo チーフエンジニア

以上





